

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 松濤会	代表者	松本 定信	法人・ 事業所 の特徴	海と山が見える立地にあり、登録は29名、通い18名、宿泊9名の施設です。通いサービスを中心に宿泊・訪問サービスを柔軟に組み合わせ、家庭的な雰囲気の中、顔なじみの職員が対応することで、住み慣れた自宅での生活を支援しています。座位浴とチェアーインバスがあり、利用者様の状態・希望に合わせてご利用できます。またカラオケや車いすダンスなどの余暇活動も充実しています。
事業所名	小規模多機能型居宅 介護事業所 銀砂台 「本宮町クラブ」	管理者	石川 美也子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	人	1人	人	人	人	6人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	高齢者権利擁護について勉強会を開催し全職員が理解できるよう努める。	日立市のパンフレットや社会福祉士のテキストを参考に資料を作成し、成年後見人制度、高齢者虐待防止に関する講習を行った。	参考にした資料を知りたい。毎年自己評価を行うことで気持ちをあらためることが出来る。	改善計画を全職員が共有し評価することで、サービスの質の向上につなげられるよう努力する。
B. 事業所のしつらえ・環境	来年度のお祭りは、地域の方も参加できるような企画を考え、より多くの方が楽しんでいただけるよう努力する。	新型コロナウイルスの影響により、内部だけの開催になった。	利用者・職員の新型コロナウイルス感染症拡大予防を優先に考え、行事や外出などを考えてほしい。	新型コロナウイルス感染予防に努めながら、より多くの方に楽しんで頂けるような企画を開催できるよう努力する。
C. 事業所と地域のかかわり	現在開催されている行事などに地域の方が気軽に参加できるように努力する。	新型コロナウイルスの影響により、地域の方が参加できる行事を開催することができなかった。	現在の状況では困難だが、幼稚園・小学校等との交流を設けてみてはどうか。	新型コロナウイルス感染症予防に努めながら、手紙のやりとりや電話等の方法で地域との交流が継続できるよう努力する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域ケア会議に一般職員も参加し、地域での課題や高齢者の課題を理解し住み慣れた自宅での生活が継続できる支援につなげるよう努力する。	新型コロナウイルスの影響により、研修・会議が中止されてしまった。そのため、電話での情報交換が多かった。	新型コロナウイルスの影響がなければ、積極的に参加した方が良かったと思う。利用者・職員の安全を優先してほしい。	地域ケア会議に積極的参加し、地域での課題等を理解し、住み慣れた自宅での生活が継続できる支援につなげるよう努力する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	成年後見人制度について勉強会を開催し、家族からの問い合わせの際に答えられるように努力する。	社会福祉士のテキストなどを参考に勉強会を行い基礎的な知識を身に付けた。また、1名の利用者様を成年後見人制度利用につなげることができた。	特になし	新型コロナウイルス感染症の影響で推進会議の開催が困難な場合でも、委員宅への訪問や電話連絡等により、運営状況について説明し必要な助言を頂くことがで

				きるよう努力する。
F. 事業所の 防災・災害対策	<p>年度初めに年間の防災訓練予定表を作成しホームページに掲載する。</p> <p>防災訓練を行った際にでた課題を整理し、次回の防災訓練の際に役立てることができるよう努力する。</p>	<p>年度初めにホームページの予定表に掲載することができた。</p> <p>防災訓練での課題</p> <p>① 階段からの車椅子での避難方法</p> <p>② 緊急連絡網があるが、一人一人に連絡しなければならない。</p> <p>③ 新型コロナウイルス感染症が発生した際の対応はどうしたらよいのか</p>	<p>① 階段から車いすでの避難方法については、新人職員を中心に習得する事ができた。</p> <p>② 緊急連絡網の他に、ラインを登録し一斉送信が出来るようになった。</p> <p>③ 新型コロナウイルス感染症が発生した際の対応は、時間が空いた際には行ったが防災訓練としては行わなかった。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大時の防災訓練を行い、必要物品の確認等を行うことで迅速に対応ができるよう準備する。</p>